

# FreeStyle **リブレ** は、時と場所を選ばず、簡単にグルコース値を確認できます。

## FreeStyleリブレとは？

FreeStyleリブレは、間質液中のグルコースを測定します。

- 指先に針を刺すことなく測定が可能です。\*
- いつでも、どこでも、服の上からでも測定が可能です。\*\*
- センサーは最長14日間にわたって信頼性の高いグルコースデータを提供します。
- 測定データは一目でわかるグラフで表示。見やすく、操作しやすいタッチスクリーンです。
- アクティブな生活が可能になる耐水性設計です。\*\*\*

\* 血糖値が急激に変化している状況で測定した間質液血糖値が正確に血糖値を反映していない可能性がある場合、低血糖または低血糖の可能性が報告された場合、また測定値と症状が一致していない場合には、血糖測定機能を用いて指先での測定を行ってください。

\*\* 厚さ4cm以内の衣服の上からReaderで読み取ることができます。

\*\*\* 水深1メートルで最長30分間の耐水性試験を実施済みです。

## Readerの測定画面

### メッセージ

タッチして詳細情報を表示します。

### メモの追加

タッチして、グルコース測定値にメモを追加します。

### 現在のグルコース値

今回のスキャンで得られたグルコース値。

### グルコース値トレンド矢印

グルコース値の推移する方向。

### 食事メモ

### 追加インスリンメモ

### グルコースグラフ

過去8時間のグルコース値のグラフ。

### ホームボタン

Readerのオン/オフ、ホーム画面へ戻る。

### 電極差込口

専用測定電極で血糖値および血中ケトン体の測定が可能。



FreeStyle  
リブレ

## FreeStyleリブレは簡単3ステップ

### 1 装着

小型（500円玉サイズ）のセンサーを上腕の後ろ側に装着します。



### 2 データの読み取り

センサーをスキャンすることで簡単に測定できます。衣服の上からでもスキャンできます。



### 3 確認

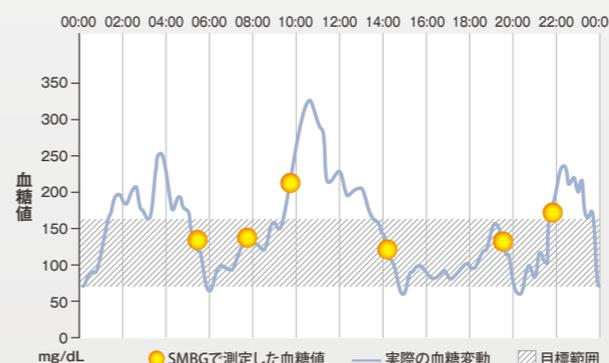
現在のグルコース値と8時間の履歴、血糖変動の傾向を示す矢印が表示されます。



## FreeStyleリブレで何がわかる？

FreeStyleリブレは、血糖の推移や変動パターンを簡単に知ることができるグルコース測定器です。

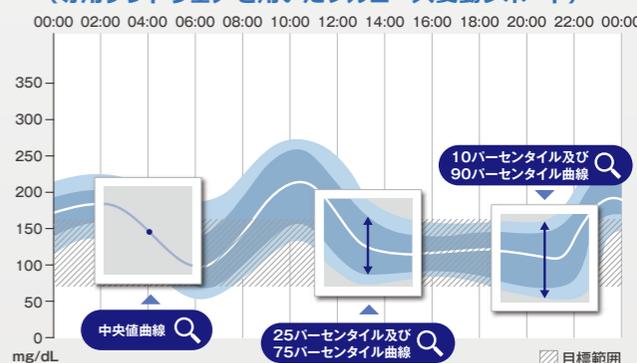
### ● SMBGによる血糖測定



SMBGでは、測定した時点の血糖値はわかりますが、血糖変動を把握することが困難です。

※図はイメージです。

### ● FreeStyleリブレによるグルコース測定 (専用ソフトウェアを用いたグルコース変動レポート)



FreeStyleリブレでは、グルコース値の推移が曲線で表され、血糖変動の把握が容易です。

Abbott

DOC36134\_rev-E\_JP 03/17 (A3)

# FreeStyle **リブレ** 使用開始手順

## 装着部位

手順  
1



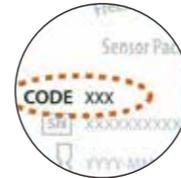
上腕の後ろの部位を選択してください。アルコール綿で装着部位を拭き、次の手順の前に乾かしてください。  
**注意:** 傷跡、ほくろ、ストレッチマークまたは瘤のある場所や、インスリン注射の部位は避けてください。皮膚の炎症を避けるために、前回とは別の装着部位を選んでください。快適さと活動しやすさを考慮してください。

## センサーを準備する

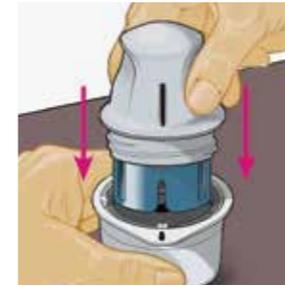
手順  
2



センサーパックのフタを完全にはがして開けます。センサーアプリケーターのキャップを回して外します。  
**注意:** センサーパックとセンサーアプリケーターのセンサーコードが一致していることを確認してください。



手順  
3



平らな場所にセンサーパックを置き、センサーアプリケーターの**黒のマーク**をセンサーパックの**黒のマーク**に合わせます。センサーアプリケーターを上から強く、止まるまで押し下げてください。

手順  
4



センサーパックからセンサーアプリケーターを持ち上げます。これでセンサーの準備は完了です。

## センサーを装着する

手順  
5



センサーアプリケーターを装着部位にあて、センサーが身体に装着されるまでしっかりと押し込みます。センサーアプリケーターをそっと身体から引き離します。  
**注意:** 予期しない結果や怪我を防ぐため、装着部位に置くまでセンサーアプリケーターを押し下げないでください。

手順  
6



センサーが固定されていることを確認します。これでセンサーの装着は完了です。

## センサーを起動する

手順  
7



ホームボタンを押してReaderの電源をオンにし、「**新しいセンサーを起動**」をタッチします。

手順  
8



センサーから4cm以内でReaderを持ち、起動させてください。音声の設定がオンの場合には、センサーが起動するとReaderのビープ音が鳴ります。

手順  
9



センサーは60分後からグルコースの確認のために使用できるようになります。  
**注意:** 15秒以内に通信が確立しない場合は、Readerに再試行を促すメッセージが表示されます。OKをタッチしてホーム画面に戻り、「**新しいセンサーを起動**」をタッチしてセンサーを起動します。